



発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

主を裏切ったユダは、取り返しのつかないことをしたと気づき、銀貨を投げ返し、絶望の中で命を絶つ。これが彼の最期であった。受難の季節、私たちはこの出来事に心を深く揺さぶられる。銀貨三十枚で主を売り渡し、ユダ。彼は激しい後悔とともに、罪を告白し、銀貨を神殿に投げ返す。「わたしは罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました」(マタイ27:4)と。

しかし、その告白を聞いた祭司長たちは冷淡に言い放つ。「我々の知ったことではない。お前の問題だ。」自己責任、責任はお前にある。ここに、同じく主を裏切りながらも天に向かって号泣したペトロとの大きな違いがあったのではないだろうか。ユダは神に向かうことができなかつた。彼は祈ることも、待ち望むこともできなかつた。ただ自分の罪を自分で背負い、自らの命を断つ。人の目には、ここでユダの物語は終わる。

イは、いつものように、この出来事が旧約の預言の成就であったと記し、投げ返された銀貨三十枚で「陶器職人の畑」が買われ、それが「血の畑」と呼ばれていると伝えるだけである。ここで注目したいのは、マタイがこの出来事をエレミヤの預言として挙げている点である。実際の内容は、ゼカリヤの預言に近い。「わたしはその銀三十シケルを

瞑想

主がわたしにお命じになったように、
彼らはこの金で陶器職人の畑を買い取った。

(マタイ27:10)

主幹牧師 榎本 恵

取つて、主の神殿で鋳物師に投げ与えた」(ゼカリヤ11:13)。それにもかかわらず、マタイはあえてエレミヤの名を記す。

エレミヤ32章。国が減び、土地が他国のものになると分かっているが、主の命令によって土地を買われる預言者。今は失われるその畑。しかし、やがて再び回復される時が来るといふ約束。この約束が、ユダの銀貨で買

われた畑に重ねられているのではないだろうか。わたしには、そこに「血の畑」をエレミヤの預言と結びつけたマタイの意図があるように思われる。そこは負の遺産でありながら、同時に十字架の血を思い起こさせる場所となった。外国人の墓地となつたその畑は、異邦人である私たちが血の代価によって招き入れられたことの象徴でもあるのではないか。

この物語は、ユダを裁くためでも、同情で終わるためでもない。ここに示されているのは、絶望の出来事の中にも、神が「再び」という約束を忍ばせておられるということである。陶器職人の畑。それは土に帰る場所であり、同時に器が造られる場所でもある。私たちもまた砕かれ、土のようになる。けれど主は、その土から新しい器を造られる。

友よ、ユダが救われたのかどうか、わたしには分からない。けれども「黄泉にまで届く御手」を信じて、私たちは血の畑によって救われた者として、すべてを主の御手に委ねる者になりたい。

血の代価で買われたその畑は、今、私たちの心の奥に静かに問いかけてくる。十字架の血潮は、「我々の知ったことか」とは決して言わない。「それはあなたの問題ではなく、わたしの問題だ」と静かに語ってください。

「霊においてキリストは、捕らわれていた霊たちのところへ行って宣教されました」(Iペトロ3:18)。教会はキリストは陰府にくだられた」と告白してきた。ここで語られているのは、救いの届かない場所にまで主ご自身が出向かれたという事実である。人が神に届くのではない。神が、人の届かないところへと届かれるのだ。ユダが行き着いたその場所に、主が来られないと、どうして言えるだろうか。救いは人の到達ではなく、神の到達によって起こる。キリストは、捕らわれている霊たちのところへまで行って宣教されるのである。

基夫先生、GOOD JOB! ②



アシュラム初日、最相葉月氏講演会后、
広子姉をお迎えに来られた築山崇氏と。

築山 広子
しかし、何で、関学の学院長が、このタイミングで、ここに現れたのか……。恥ずかしいやら、申し訳ないやらで、食しているランチの味なんて味わう余裕もなく早々に平らげ、バザールを出ることにした。

退出時にちゃんと挨拶をせねばと思い、思
い切って「先生、聞か
えたのですか?」と問
うと「はい、関学のモ
トオちゃんと聞こえま
したので」という返
答。またまた頭がぼ
うつとして、ここを乗
り切らねばと思い「失
礼しました。アシュラ
ムの友、橋本るつ子さ
ん、るつちゃんが、日
頃からモトオちゃん、
モトオちゃんと、言っ
てるものですかから、
知らないのについ、
言ってしまうまし
た。ですが、私は今
度の先生の説教題、
今の自分にぴったり
だとも期待してい
るので、よろしく
お願いします」と、
とりあえずるつ子さ
んのせいにして、さ
らに説教内容に圧を
かけるというその厚
かましさに我ながら

驚きながら、その場を
逃れた。でも嘘はいっ
てないな、と、そんな
ことを思い出していた
ら、先生が登壇され、
礼拝が始まった。
先生はのっけから、
ご自分のさみしくなっ
た頭髪を榎本家の
DNAと絡めて話し始
められた。「これは紛
れもない榎本何某の遺
伝子のなせる業であ
り、その証拠に、榎本
栄次先生も同じだ」
と。そういわれ、参加
者の視線は一斉に栄次
先生の頭に向けられ、
来られるやいきなり壇
上に座らされた栄次先
生は「この甥っ子は何
をいいだすのか」と目
を白黒させておられた
ようにお見受けした。

ついでに、恵先生の
たくさんある白髪は、
彼の祖父である「榎本
ためえ」さんの遺伝で
あるということであっ
た。参加者の視線は、
恵先生の頭髪に移り

「榎本とおる」という
方のことを全く知らな
いことになるほど、と納
得したのであった。
ここまでの「さわ
り」で、聴衆の心を一
気に掴み、話のまくら
は大成功。上質な落語
を聞いている気分にな
り、髪の毛だけでな
く、ユーモアある話を
展開する榎本家の
DNAを先生は実
にしっかりと受け継いで
おられる、「うーんや
はり、サスガノエノモ
トケ」だと思った私で
ある。
ここまで聴衆の心を
掴めば、もうしめたも
の。語られることは、
心にそのまま流れ込ん
でくる。さて、この後
の本題は、髪の毛のよ
うな軽いものではな
く、現在のキリスト教
の実態も率直に語ら
れ、重く難しい内容を
やさしく解き明かして
くださった(つづく)
(アシュラムセンター
常任運営委員)

日本愛修會 50周年記念会の感想 ②

高雅雯
共に歩む祝福…私たち
は誰か?

「聖家族(ファミリー
の恵みの時)」のプロ
グラムを心待ちにして
いました。そこでは神
の素晴らしい働きをた
くさん目にすることが
できました。「聖家族」
の共有の中で、一人ひ
とりの背後には、背負
うのが困難であっても
なお引き受けることを
選んだ生命の重みがあ
るのを見ました。その
瞬間、心の中で口で
きなかった言葉が浮か
びました。「台湾に戻っ
たら、またいつものよ

うに忙しく、疲れ切った自分に戻ってしまおうのではないかと。しかし、聖家族の祈りの中で、主の優しくも力強い声が私に語りかけるのをはつきりと聞きました。「あなたは責任によって定義される者ではない。あなたは私の深く愛する娘なのだ。」太魯閣（タロコ）族の女性として育った私は、小さい頃から強くあれ、耐えよ、背負えと教えられてきました。しかしその瞬間、神は私のアイデンティティを再調整してくださいました。子どもは完璧な母を必要としているのではなく、天の父の前に戻る方法を知り、共に子どもと家に帰ることをいとわれない母を必要としているのだと。この言葉は私を癒し、責任の重荷の中に立つのではなく、神の愛の中に自分の位置を再び置くこ

とを可能にしました。殉教者記念碑・私たちはどこを歩んできたのか？

愛修會の後、京都のキリシタン殉教者の記念碑を巡りました。細雨が降り注ぐ中、その名前と歴史は命をもって福音を刻んでいます。私は静かに立ち、冷たい風が吹き抜ける中、霊的な火が心にそっと灯るのを感じました。まるで主が語りかけるようでした。「先人たちは恐れなかったのではない。恐れの中でも私に従うことを選んだのだ」と。

その瞬間、私は深く理解しました。信仰が私たちの民族に、そして私の手に伝わるのは決して当然のことではなく、暗闇の中でもイエスをしっかりと握り続けた多くの人々の代価によるのだと。碑の前で私が祈った言葉はた

だ一つでした。「主よ、私はあなたの道を歩むことを望みます。自分の力ではなく、全てあなたの恵みに依り頼んで。」
(つづく)
（台湾基督長老教會文蘭教會）



キリシタン殉教跡を見学

同行的祝福：我們是誰？

很期待很久的聖家族安排，因為在裡面看得很多神奧妙的伴工。在這次「聖家族」的分享中，我看見每一位聖家人背後，都背負著自己難以承擔、卻仍選擇承擔的生命重量。那一刻，我心中浮現一句自己不敢說出口的話：「我最害怕回到台灣後，又變回那個永遠忙碌、永遠疲累的自己。」

然而，在聖家人的代禱中，我清楚聽見主溫柔而堅定的聲音對我說：「妳不是被責任定義的人，妳是我深愛的女兒。」身為太魯閣族女性，我從小被教導要堅強、要持守、要扛起來，但在那一刻，神重新校准我的身份。孩子不需要一位完美的母親，而是需要一位知道如何回到天父面前、也願意帶著孩子一起回家的母親。這句話不只醫治了我，也讓我重新安放自己的位置——不是站在責任的重擔裡，而是住在神的愛中。

殉教者紀念碑：我們曾走過哪裡？

細雨落在殉教者紀念碑上，那些名字、那些歷史，是用生命刻寫的福音。我靜靜站立，冷風拂過，心裡卻有一把屬靈的火悄然燃起。我彷彿聽見主對我說：「前人不是沒有害怕，而是在害怕中仍選擇跟隨我。」

那一刻，我深深明白，信仰能傳到我們族群、傳到我手中，從來不是理所當然，而是許多人在黑暗中仍緊緊抓住耶穌的代價。我在碑前的禱告只有一句：「主啊，我願意走祢的路，不是靠自己的力量，而是全然倚靠祢的恩典。」

高雅雯（台灣基督長老教會 文蘭教會）



← 1月早天祈禱會Zoom参加の方々も。つこ姉の下関時代の友も。シメオン黙想の家に宿泊後、早天の恵みを共に。

浅野ご夫妻

中野ご夫妻

冬は去り、雨の季節は終わった。(雅歌 2 : 11)

愛修會 (アシュラム) の靈的養成の小さな旅路。

第一部：静聴

1. 黙想の時間

聖靈の啓示と導きを通して、神の御言葉に耳を傾け、受け取る時間です。すべての参加者は、指定された聖書箇所を丁寧に何度も読み、黙想します。特に心に響いた、啓示を感じた御言葉は記録し、神への応答として用います。

今回の黙想の主題聖句は、雅歌第2章と第8章です。中でも雅歌2章11節「冬は過ぎ去り、雨も止んだ」(現代台湾語訳)は、今回の中心聖句です。4月初旬の滋賀県近江八幡市はちょうど桜が満開の時期であり、主が私たちに与えてくださった場所と聖句の描写が見事に呼応していました。

さらに、特別な黙想として「ラビリンス散歩」がありました。迷路のような道を歩きながら黙想するこの時間は、身体の動きを通して、全人的に黙想に没入する体験であり、非常に実感のある靈的な営みでした。

2. 恵み(分かち合い)の時

分かち合いは家長会が司会を務め、聖靈の導きに従って、参加者が一人ひとり黙想の時間に受け取った啓示を分かち合います。読んだ聖書箇所から得た靈的な光と恵みを、互いに分かち合うのです。

分かち合いの際には、「私が読んだ第○章第○節から、私に与えられた啓示は…」というように、「私」という言葉を用いて語ります。「私たち」「みんな」「あなたたち」といった言葉は使いません。このような分かち合いを通して、自分自身の使命を再発見し、喜びと希望に満ちた生活を新たに始めることができます。

恵みの時間は、アシュラムの中でも最も甘美なひとときです。私たちは誰かを教えるために集まっているのではなく、自分自身の思いや受け取ったものを通して神に応答し、兄弟姉妹と分かち合うのです。

3. 証しの時間と守りの祈りの時間(今回の旅程には含まれていません)

証しの時間では、アシュラムに来たことのある兄弟姉妹が、過去に神の導きによって決断したことや経験したことを分かち合います。その中には感謝もあれば、悔い改めもあり、互いに代祷する時間も含まれます。

守りの祈りの時間は、聖靈に「私が何を祈るべきか」を教えていただきながら、自分自身、講師、集会の参加者、そして自分が心にかけている人々のために祈る時間です。1人1時間を単位として祈祷室で絶えず祈りが続けられます。

祈りの感動は祈祷簿に記録され、兄弟姉妹は他の人の祈りの言葉を読んで代祷することができます。すべての祈祷文は、兄弟姉妹が神に語った心の言葉であり、秘密として守られ、外に漏らしてはなりません。(つづく)

王美書 (台湾基督長老教會 台中復興教會牧師)

冬天已經過，雨已經停
愛修會靈性培育 小組
王美書 (台灣基督長老教會 台中復興教會牧師)

第一部份：總

1. 黙想時間：
通過聖神e啟示俗引系，聽聞接受上帝e話語。所有e參與者，俗指定e經文好好讀兩三遍，黙想，特別共有感動e是有啟示e經文記錄下來，欲來回應上帝。這靈e黙想主題經文有兩章，雅歌2章拾8章，雅歌2:11「冬天已經過，雨已經停」(現代台語譯本)是主題聖句。四月初日本e滋賀縣近江八幡市正是櫻花滿開的時，上主互阮所待起e所在俗經文描寫e情景正好互相呼應。聞有一个特別e黙想是Labyrinth散步，行一个迷宮，若行若黙想，通過身軀e振動來感受全人投入黙想e行動，是實實在在e。

2. 恩典(分享)時間：
家長會主持分享，照聖神e感動，大家會當一个分享伊行黙想時間，對所讀經文所得着e啟示，向彼此提出屬靈e光俗恩典，共大家來分享。分享時常用「我」担任e第oo章第oo節…對我e啟示就是…，母通用「阮」，「咱」，「您」e詞。按呢e分享會使重新發現家己e使命，開始過喜樂聞有向望e生活。恩典時間tia~tia~是愛修會中e讚美e時，咱母是去敬導別人，是通過家己e感想俗得著禮感答上帝以及俗兒姊相俗分享。

3. 另外聞有見證時間俗守望祈禱時間，行兩工e行程中無。見證時間是互捌來愛修會e兒姊，見證伊按怎共過去上帝引系伊所決意欲做e代誌分享出來。行這時有感謝編有認罪，聞有互相代禱。守望祈禱時間，是求聖神啟示「我」祈禱，為家己、講員、聚會中e人以及你所關心e人代禱，時間是每一人1點鐘e單位。行祈禱室中不斷祈禱。祈禱e感動會使記錄行祈禱簿內，兒姊會當讀別人e祈禱詞聞為伊代禱，所有e祈禱文是兒姊對上帝所講e心內話，愛保守秘密，母通講出去。



みんなのでラビリンスウォーク

シメオンの風 10 「石モザイクのメモリアルプレート」

市橋 恵子

シメオン黙想の家の玄関に続くアプローチには、メモリアルプレートが設置されています。長方形の横長のプレートには、それぞれに榎本保郎牧師をはじめ、アシュラム運動のために尽力され深くかかわってこられた方々のお名前が記されています。

このプレートは石モザイクという手法で天然石を砕いて色合わせしながらはめ込んで造形していくアートだということを教えていただきました。制作されたアーティストは滋賀県信楽に「壁画工房 101」を構えておられる田ヶ原弘さん。陶壁やステンドグラスなども手掛けられるクリスチャン作家です。

アプローチを歩きながら見ていくと、設置された場所によっては、木漏れ日や風の揺らぎでプレートの表情が変わるときがあります。その周りにはセンターの働き人が植えた花々がいろいろを添えています。一つ一つの石モザイクのお名前を見ながら、生前を存じ上げている方はその顔や声を思い出し、お目にかかったことはなくても著書やあるいはそのご家族、信仰の友から伺ったエピソードを思い出すこともあります。

アプローチに静かに置かれたプレートは、先に召天された方々に思いをはせ、呼びかけてみるためのきっかけになっています。この世での交流はもうかなわないとしても、いつまでも記憶しておくことの大切さと恵みを知らされます。

*インターネットで「壁画工房 101」と検索すれば他の作品も鑑賞できます。



いえじま 雑記 33 「小さな歴史を拾い集めて」

2月で三女は三歳になりました。あっというまに大きくなって、姉たちに揉まれつつも、一人で黙々とパズルをしたり、絵を描いたり、UNOをやりに出せば止まらなくなったりと、多趣味な娘です。時の流れがもう少しだけゆっくりになればいいのに、ときどき思います。ついこのあいだまでは「こんちくは」と言っていた三女も、いつのまにか「こんにちは」と言えるようになりました。彼女は伊江島で生まれたので、私たちもこの島に越してきてもう三年以上が経つこととなります。そろそろ研究をまとめなければならぬと思っているのですが、日常はその間も続いていき、学びにも終わりがありません。

最近では来客も多く、島を案内することも増えました。一日あれば、見るべきところはまわれるようなちいさな島にも、これまで堆積されてきた歴史がいたるところに潜んでいて、そういう歴史はそれを覚えている人がいなくなれば、どこかに消えていってしまう類のものです。私のこの島での証人としての仕事は、そういうちいさな歴史をできるだけ拾い集めて言葉にし、共有可能な形に変えていくことなのだと思います。

榎本 空（ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住）



しりとり②「おに」
(先月は「そお」)



今年の年頭アシュラム第6ファミリー！。江口師は左。1年間、まことば、執筆感謝です。京浜アシュラムのお働きが祝されますように。



◀ブラジルでのアシュラム、皆様方に大変お世話になりました。ジュラン・ジール柳原師（病治療中）も、通訳のご奉仕を。

あとがき

ブラジル宣教旅行を無事に終え、今ドイツのフランクフルト飛行場で、乗り換え便を待ちながらこれを書いてる。

今回の旅も多くのブラジルの方々との交わりをいただき、そしてその友情を深めることができた。アライアンスワールドフェローシップのジュラン・ジール会長も、大変な大病を患いながら、私と日程を共にしてくださった。またブラジルでは、安井牧師が光太のためにサッカー伝道の方達を紹介してくださった。どれも次の世代へと結ぶ大事な時である。

榎本保郎師が、マケドニアの声としてブラジル日系人の叫びを聞き、その途上天に召され来年で50年になる。この命をかけて聞いていった先達たちを覚えて、ここ日本に住むアシュラムの皆様も、どうか祈りをあわせていただき。来年の榎本保郎牧師召天記念会に合わせ、色々と考えている。
(恵)



わたしは知っている。あなたを贖う事はできません。ヨハネ一九：25

榎本和子 (樋口栄子姉宛のハガキより)

中止、又はオンラインに変更もあり。ホームページ、電話等でご確認下さい。直前の変更の場合あり!

【主な問い合わせ先】0748-33-4030 アシュラムセンター
【Zoom・インターネット等 問い合わせ先】080-3983-8140

3月の聖書教室など	
10(火)	Zoom聖書教室 (Zoom PM7:30)
17(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)
18(水)	みんなのカフェいろいろ聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)
20(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00)
22(日)	ちいろば牧師記念チャペル夕礼拝 (PM5:00)
23(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
24(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
24(火)	しみじみする会 (桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30)
4/3(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)

3月のアシュラムなど	
2(月) 4(水)	第43回 台湾愛修會 奉仕者 榎本 恵師 0748-33-4030 アシュラムセンター
19(木) 21(土)	修道場アシュラム 奉仕者 榎本 恵師 0748-33-4030 アシュラムセンター

お待ちしています!

4月のアシュラム予定	
29(水)	第28回 阪神一日アシュラム (神戸聖愛教会) 0748-33-4030 奉仕者 榎本 恵師 アシュラムセンター

5月以降のアシュラム予定	
6/6(土)	第30回 三重一日アシュラム
6/18(木)~21(日)	沖縄巡礼の旅・慰霊祭
7/20(月・祝)	第29回 福岡一日アシュラム
8月	第2回 子どもアシュラム
9/20(日)~21(月・祝)	第57回 九州アシュラム (アシュラム連盟)
9/22(火)	第33回 岐阜アシュラム
9/24(木)~25(金)	第14回 日光オリーブの里アシュラム
9/26(土)	第52回 南町田一日アシュラム
11/2(月)	第51回 京浜アシュラム
11/28(土)	第7回 四国一日アシュラム

★信徒の友3月号に恵師「沈黙のうちに神の声を捜す」の文が載せられています。出版局存続のため、是非お買い求め下さい。

★シメオン黙想の家がテレビに!? (ほんの一瞬...!) テレ東「新美の巨人たち」にて2月28日放映されるかも?



みことば



いえじまバナナ

日本基督教団
無任所教師 江口公一

13章 「信仰を持って生きているかどうか自分を反省し、自分を吟味しなさい。あなたがたは自分自身のことから分からないのですか。イエス・キリストがあなたがたの内におられることが。」(IIコリント13:5)

世には、和解がかなわない現実があります。努力しても埋まらない溝があり、言葉が届かない。相手が過ちを認めない。こんなに祈っても聞かれない。それは教会の中でも起こり得ることです。そのとき私たちは「信仰ではどうにもならないことがある」と思うかもしれませんが。物事は進まず、信仰は無力に見えます。

コリント教会には争いがあり、収束が見えませんでした。パウロを疑う人々は「キリストがパウロによって語っておられる証拠(試験)(3)」を求めていました。この状況で、パウロは彼らに問いかけます。「信仰を持って生きているかどうか自分を反省し、自分を吟味しなさい」と。「吟味」は、相手が求めた「証拠」と同じ言葉で「試験」という意味があります。パウロは、私ではなくあなたがた自身を「試験」しなさい、と応じたのです。誰も失格者にならないことを願いつつ。

この言葉は個々人ではなく「あなたがた(教会)」に向けられています。パウロはこう伝えたいのでしょう。「幾つにも分かれて争うあなたがたの内に、十字架につけられた姿で『父よ』と叫ぶイエス・キリスト(ガラテヤ3:1,4:6)がおられるではないか。あなたがたがこのキリストを信じその信仰に生きれば、キリストがあなたがたによって語っておられるのを見るだろう。それこそが、あなたがたが私に求めている証拠(試験)である」と。

強さと権威を誇る先には争いがあります。キリストは父の御心に従い、人の弱さと罪を担った神であり人であるお方として、弱さのゆえに十字架につけられましたが、神の力によって生きておられるのです(4)。この「信仰」に日々生きる私たちには、愛と平和の神が共にいてくださいます(11)。生きるとはキリストであり、それこそが神と隣人との和解に至る確かな道なのです。

1年間、IIコリント書を担当させていただきました。この拙い文を読まれた皆様が、本書を読み直そうと思ってくださったなら、望外の喜びです。



「誕生者への祈り」この時代の中にあつて、キリスト者は小さな群れですが、いつも世にあつて、世に属していない者のように生きていく事ができますように。いつもあなたを見上げ賛美し、ハレルヤと声をあげていくことができますように 詩146 早天ブラジルより 恵